

資料編

〈課題と解決策〉

課題(主体別)

市民

地域や行政に無関心な人(寝に帰るだけの人)が多い
地域参加へのきっかけがない
コミュニケーションを図る場が少ない
お互い様の精神、人情味が薄れてきた
ふるさと意識が少ない
新しく移ってきた住民が、地域に参加する意識がない

市民公益活動団体

地縁団体

自治会加入率の低下
住民の高齢化により、地域活動に支障が出ている
若者の地域活動への参加が少ない
活動者が固定、重複している
行政からの下請け感
自治会とコミュニティで重複している活動がある
地域課題を共有する仕組みがない
高齢化社会に向けて地域での相談窓口、情報交換できる場、地域内でのボランティアが必要

共通

財源、活動拠点が不足
情報収集、情報発信力が弱い
人材の発掘、育成、活用が弱い
担い手の不足、高齢化
何かしたいと思っている人に情報、機会を提供できる仕組みがない
他団体との交流の機会が少ない

志縁団体

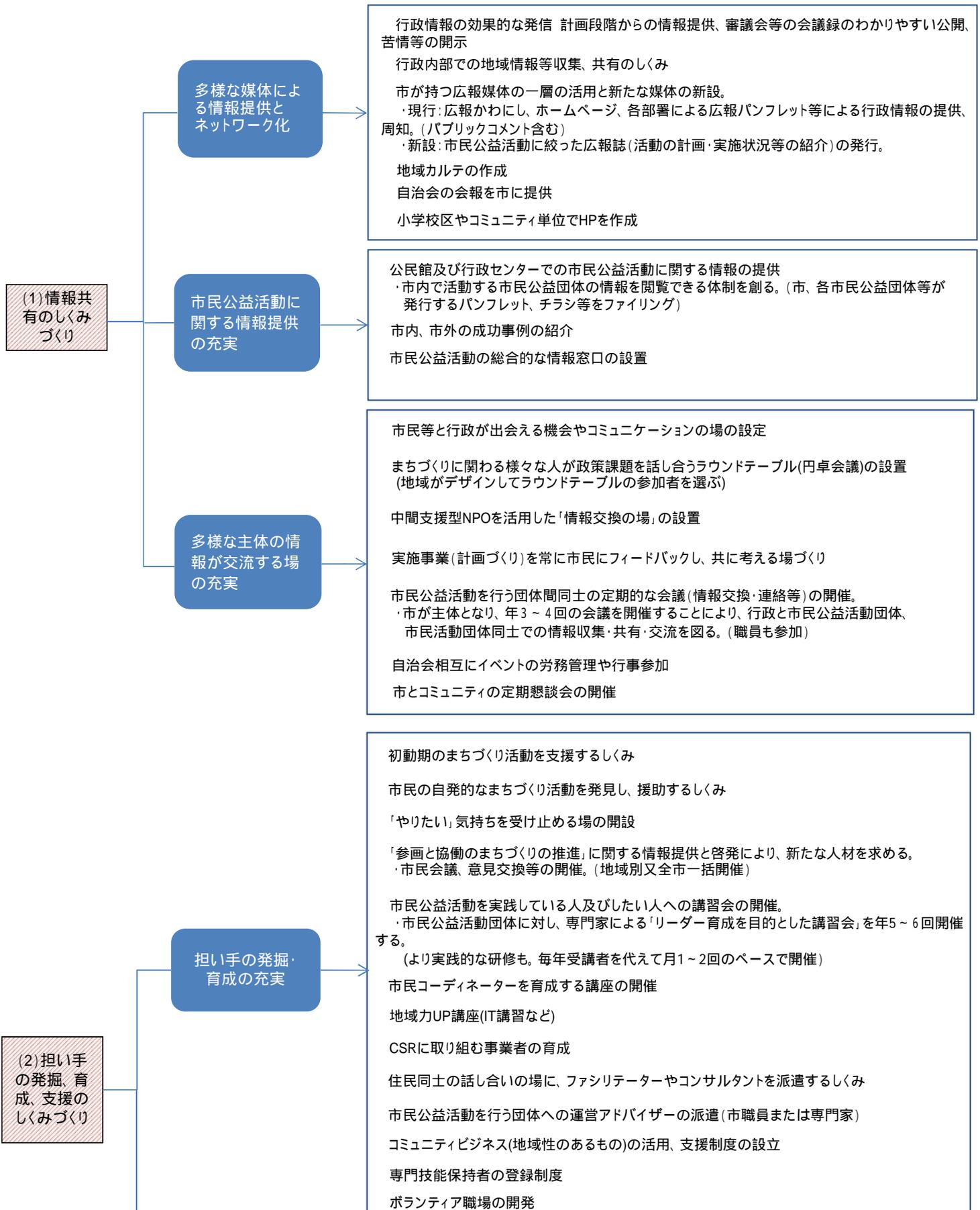
活動基盤(資金、人材、拠点)が弱い
NPOやボランティアに対する理解が進んでいない
ボランティア活動センターと市民活動センターの役割分担
事業者や地域団体との協力・連携関係が少ない

事業者

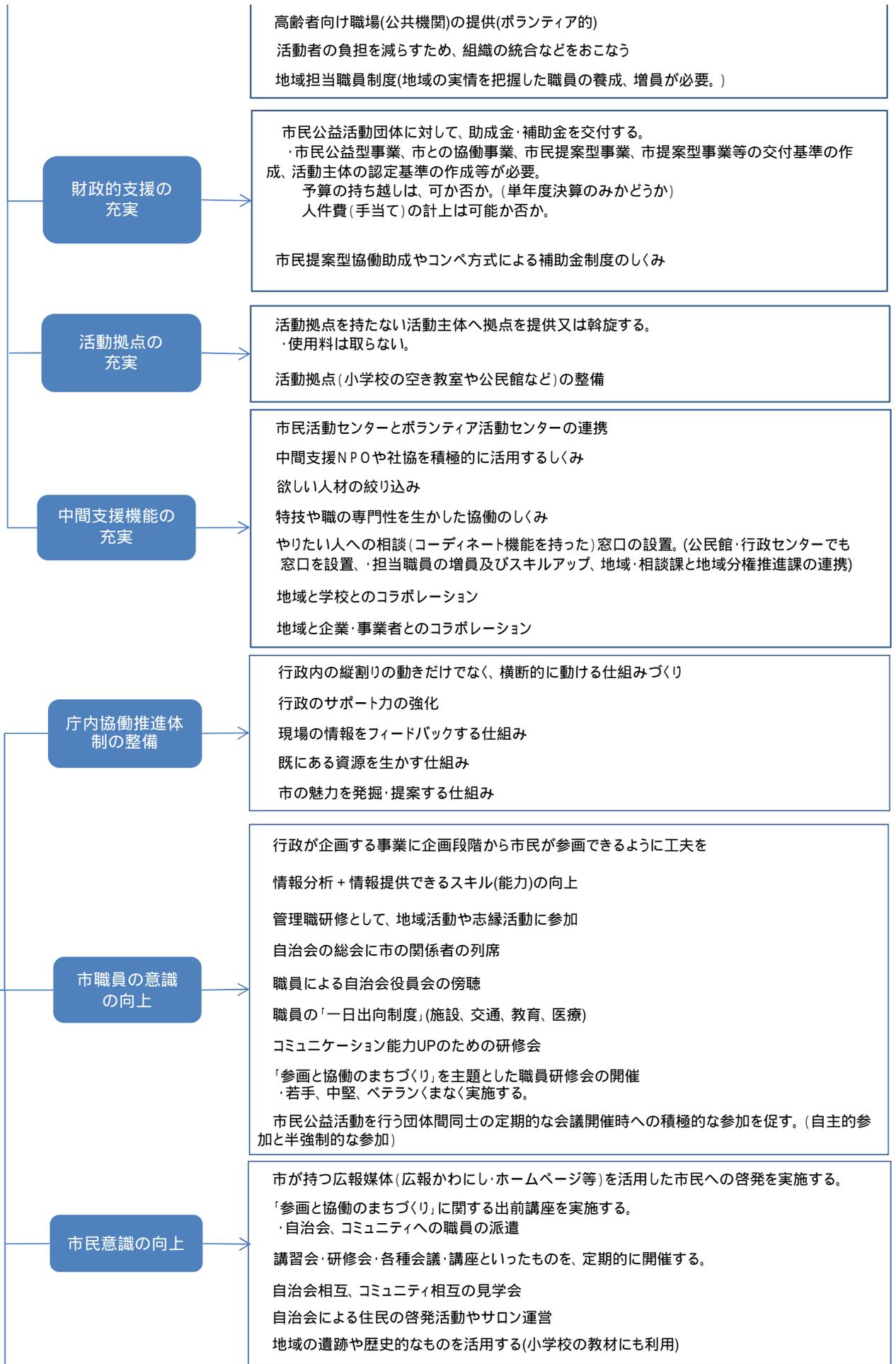
まちづくりへの取り組みが少ない
イベントへの市民参加が少ない
事業者の域を超えられないジレンマ
まちを元気にするためのリーダーシップをもっと発揮すべき
市民と交流する機会が少ない

市

職員の参画・協働に対する意識が低い
情報提供不足
縦割り組織による弊害
補助金等の見直し、統合
自治会加入率を上げるような支援が薄い
自治会同士の交流を促進する施策がない
公平性・中立性が多様性を抑えてしまっている
つなぐ役割意識の欠如



(3) 意識
啓発のしくみ
づくり



参加に向けての
きっかけづくり

市民対象の定期的な講習会及び研修会の開催。
・広く市民等が「参画と協働」の重要性を認識できるような講習会・研修会を開催する。
啓発活動の一環としても必要。